

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年3月3日(2016.3.3)

【公表番号】特表2015-507444(P2015-507444A)

【公表日】平成27年3月5日(2015.3.5)

【年通号数】公開・登録公報2015-015

【出願番号】特願2014-556697(P2014-556697)

【国際特許分類】

H 04 W 16/14 (2009.01)

H 04 W 72/02 (2009.01)

【F I】

H 04 W 16/14

H 04 W 72/02

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月14日(2016.1.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザ機器において受信されるべき動作セルラー受信周波数帯域を判断することと、

前記動作セルラー受信周波数帯域の少なくとも1つの整数倍を判断することと、

産業科学医療用、ISM、通信と前記動作セルラー受信周波数帯域の前記少なくとも1つの整数倍との間の干渉を低減することに少なくとも部分的に基づいて、ISM通信のための少なくとも1つのISM周波数帯域を選択することと

を備える、ワイヤレス通信の方法。

【請求項2】

前記選択することが、前記動作セルラー受信周波数帯域の前記少なくとも1つの整数倍から少なくとも所定の距離にある前記少なくとも1つのISM周波数帯域を選択することを備える、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

相互変調により前記動作セルラー受信周波数帯域の前記少なくとも1つの整数倍と干渉する、ISM送信周波数帯域とセルラー送信周波数帯域とを識別することと、

前記相互変調から生じる干渉を低減するように、ISM通信のための前記少なくとも1つの周波数帯域を選択することと

をさらに備える、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

動作セルラー周波数帯域のアクティブセットを判断することをさらに備え、前記選択することがさらに、前記アクティブセットに少なくとも部分的に基づく、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記ISM通信がBluetooth通信またはワイヤレスローカルエリアネットワーク通信である、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

ユーザ機器において受信されるべき動作セルラー受信周波数帯域を判断するための手段と、

前記動作セルラー受信周波数帯域の少なくとも1つの整数倍を判断するための手段と、産業科学医療用、ISM、通信と前記動作セルラー受信周波数帯域の前記少なくとも1つの整数倍との間の干渉を低減することに少なくとも部分的に基づいて、ISM通信のための少なくとも1つのISM周波数帯域を選択するための手段とを備える、ワイヤレス通信のための装置。

【請求項7】

前記選択するための手段が、前記動作セルラー受信周波数帯域の前記少なくとも1つの整数倍から少なくとも所定の距離にある前記少なくとも1つのISM周波数帯域を選択するための手段をさらに備える、請求項6に記載の装置。

【請求項8】

相互変調により前記動作セルラー受信周波数帯域の前記少なくとも1つの整数倍と干渉する、ISM送信周波数帯域とセルラー送信周波数帯域とを識別するための手段と、

前記相互変調から生じる干渉を低減するように、ISM通信のための前記少なくとも1つの周波数帯域を選択するための手段とをさらに備える、請求項6に記載の装置。

【請求項9】

動作セルラー周波数帯域のアクティブセットを判断するための手段をさらに備え、前記選択するための手段が、前記アクティブセットに少なくとも部分的に基づいて選択するための手段をさらに備える、請求項6に記載の装置。

【請求項10】

前記ISM通信がBluetooth通信またはワイヤレスローカルエリアネットワーク通信である、請求項6に記載の装置。

【請求項11】

コンピュータプログラム製品であって、  
プログラムコードを記録したコンピュータ可読媒体を備え、前記プログラムコードが、  
コンピュータに、実行されたときに請求項1～5のうちのいずれかにしたがって方法の全  
てのステップを実行させる、コンピュータプログラム製品。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0082

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0082】

[0093]開示した態様の前述の説明は、当業者が本開示を実施または使用できるように与えたものである。これらの態様への様々な修正は当業者には容易に明らかになり、本明細書で定義した一般原理は、本開示の趣旨または範囲から逸脱することなく他の態様に適用され得る。したがって、本開示は、本明細書で示した態様に限定されるものではなく、本明細書で開示した原理および新規の特徴に一致する最も広い範囲を与えるべきである。

以下に本願発明の当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。

[C1] 動作セルラー受信周波数帯域を判断することと、

前記動作セルラー受信周波数帯域の少なくとも1つの整数倍を判断することと、  
産業科学医療用（ISM）通信と前記動作セルラー受信周波数帯域の前記少なくとも1つの整数倍との間の干渉を低減することに少なくとも部分的に基づいて、ISM通信のための少なくとも1つのISM周波数帯域を選択することとを備える、ワイヤレス通信の方法。

[C2] 前記選択することが、前記動作セルラー受信周波数帯域の前記少なくとも1つの整数倍から少なくとも所定の距離にある前記少なくとも1つのISM周波数帯域を選択することを備える、C1に記載の方法。

[C3] 相互変調により前記動作セルラー受信周波数帯域の前記少なくとも1つの整数倍

と干渉する、ISM送信周波数帯域とセルラー送信周波数帯域とを識別することと、  
前記相互変調から生じる干渉を低減するように、ISM通信のための前記少なくとも1  
つの周波数帯域を選択することと  
をさらに備える、C1に記載の方法。

[C4] 動作セルラー周波数帯域のアクティブセットを判断することをさらに備え、前記  
選択することがさらに、前記アクティブセットに少なくとも部分的に基づく、C1に記載  
の方法。

[C5] 前記ISM通信がBluetooth通信またはワイヤレスローカルエリアネット  
ワーク通信である、C1に記載の方法。

[C6] 動作セルラー受信周波数帯域を判断するための手段と、  
前記動作セルラー受信周波数帯域の少なくとも1つの整数倍を判断するための手段と、  
産業科学医療用（ISM）通信と前記動作セルラー受信周波数帯域の前記少なくとも1  
つの整数倍との間の干渉を低減することに少なくとも部分的に基づいて、ISM通信のた  
めの少なくとも1つのISM周波数帯域を選択するための手段と  
を備える、ワイヤレス通信のための装置。

[C7] 前記選択手段が、前記動作セルラー受信周波数帯域の前記少なくとも1つの整数  
倍から少なくとも所定の距離にある前記少なくとも1つのISM周波数帯域を選択するた  
めの手段をさらに備える、C6に記載の装置。

[C8] 相互変調により前記動作セルラー受信周波数帯域の前記少なくとも1つの整数倍  
と干渉する、ISM送信周波数帯域とセルラー送信周波数帯域とを識別するための手段と  
、

前記相互変調から生じる干渉を低減するように、ISM通信のための前記少なくとも1  
つの周波数帯域を選択するための手段と  
をさらに備える、C6に記載の装置。

[C9] 動作セルラー周波数帯域のアクティブセットを判断するための手段をさらに備え  
、選択するための前記手段が、前記アクティブセットに少なくとも部分的に基づいて選択  
するための手段をさらに備える、C6に記載の装置。

[C10] 前記ISM通信がBluetooth通信またはワイヤレスローカルエリアネット  
ワーク通信である、C6に記載の装置。

[C11] メモリと、  
前記メモリに結合された少なくとも1つのプロセッサであって、  
動作セルラー受信周波数帯域を判断することと、  
前記動作セルラー受信周波数帯域の少なくとも1つの整数倍を判断することと、  
産業科学医療用（ISM）通信と前記動作セルラー受信周波数帯域の前記少なくとも1  
つの整数倍との間の干渉を低減することに少なくとも部分的に基づいて、ISM通信のた  
めの少なくとも1つのISM周波数帯域を選択することとを行いうように構成された少  
くとも1つのプロセッサと  
を備える、ワイヤレス通信のための装置。

[C12] 前記少なくとも1つのプロセッサが、前記動作セルラー受信周波数帯域の前記  
少なくとも1つの整数倍から少なくとも所定の距離にある前記少なくとも1つのISM周  
波数帯域を選択することによって選択するようにさらに構成された、C11に記載の装置  
。

[C13] 前記少なくとも1つのプロセッサが、  
相互変調により前記動作セルラー受信周波数帯域の前記少なくとも1つの整数倍と干渉  
する、ISM送信周波数帯域とセルラー送信周波数帯域とを識別することと、  
前記相互変調から生じる干渉を低減するように、ISM通信のための前記少なくとも1  
つの周波数帯域を選択することと  
を行いうようにさらに構成された、C11に記載の装置。

[C14] 前記少なくとも1つのプロセッサが、動作セルラー周波数帯域のアクティブセ  
ットを判断するようにさらに構成され、前記少なくとも1つのプロセッサが、前記アクテ

ィブセットに少なくとも部分的に基づいて選択するようにさらに構成された、C 1 1 に記載の装置。

[ C 1 5 ] 前記 I S M 通信が B l u e t o o t h 通信またはワイヤレスローカルエリアネットワーク通信である、C 1 1 に記載の装置。

[ C 1 6 ] ワイヤレスネットワークにおけるワイヤレス通信のためのコンピュータプログラム製品であって、

非一時的プログラムコードを記録したコンピュータ可読媒体を備え、前記プログラムコードが、

動作セルラー受信周波数帯域を判断するためのプログラムコードと、

前記動作セルラー受信周波数帯域の少なくとも 1 つの整数倍を判断するためのプログラムコードと、

産業科学医療用 ( I S M ) 通信と前記動作セルラー受信周波数帯域の前記少なくとも 1 つの整数倍との間の干渉を低減することに少なくとも部分的に基づいて、I S M 通信のための少なくとも 1 つの I S M 周波数帯域を選択するためのプログラムコードとを備える、コンピュータプログラム製品。

[ C 1 7 ] 前記プログラムコードが、前記動作セルラー受信周波数帯域の前記少なくとも 1 つの整数倍から少なくとも所定の距離にある前記少なくとも 1 つの I S M 周波数帯域を選択することによって選択するためのコードをさらに備える、C 1 6 に記載のコンピュータプログラム製品。

[ C 1 8 ] 前記プログラムコードが、

相互変調により前記動作セルラー受信周波数帯域の前記少なくとも 1 つの整数倍と干渉する、I S M 送信周波数帯域とセルラー送信周波数帯域とを識別するためのプログラムコードと、

前記相互変調から生じる干渉を低減するように、I S M 通信のための前記少なくとも 1 つの周波数帯域を選択するためのプログラムコードとをさらに備える、C 1 6 に記載のコンピュータプログラム製品。

[ C 1 9 ] 前記プログラムコードが、動作セルラー周波数帯域のアクティブセットを判断するためのコードをさらに備え、前記プログラムコードが、前記アクティブセットに少なくとも部分的に基づいて選択するためのコードをさらに備える、C 1 6 に記載のコンピュータプログラム製品。

[ C 2 0 ] 前記 I S M 通信が B l u e t o o t h 通信またはワイヤレスローカルエリアネットワーク通信である、C 1 6 に記載のコンピュータプログラム製品。